

6

2022年(令和4年)
6月号 No.762

広報
IZUMI

いわみ

参考2

特集

ボランティアアだよ!
全員集合



黒鳥校区社協ボランティアの皆さん。私たち取材班が元気をもらえるほど、明るく元気に活動されています(黒鳥会館前)。

ボランティアだョ! 全員集合



黒鳥校区社協ボランティアの皆さん

地元のお年寄りや子どもたちが、安心していきいきと生活するために、様々なボランティア活動をしている人たちがいることを知っていますか？

今回は、校区社会福祉協議会が行っている見守り活動や、サロン活動などに取り組んでいる校区社協ボランティアについて紹介します。

校区社協ボランティアとは

校区社協ボランティアは、全 21 小学校区に作られている地域住民の自主組織です。

見守り活動、サロン活動など、地域のニーズや特性に合わせた活動を中心に、コロナ禍でも工夫して取り組んでいます。

もくじ	特集・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	きらきらシニア・・・・・・・・・・ 9	IZUMI navi・・・・・・・・・・ 14
	NEWS & TOPICS	#ウマ和泉市・・・・・・・・・・ 10	ホットいずみ・・・・・・・・・・ 29
	令和4年度 町会連合会の役員が決定 6	美の扉・・・・・・・・・・ 11	すくすく子育て+・・・・・・・・ 30
	新型コロナウイルス関連情報・・・・ 7	市史だより・・・・・・・・・・ 12	和泉市職員募集・・・・・・・・ 32
	みんなでアクション!SDGs・・・・ 8	相談あんない・・・・・・・・・・ 13	

校区社協ボランティアが活動する現場とは!?

～実際に現場で活動するボランティアさん取材してきました～



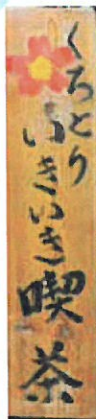
私たちの活動でお母さんやお子さんが笑顔、元気に
人とのつながりもできますよ



鶴山台北校区
山本 敬子さん

校区社協ボランティアを始めたきっかけは、
地域の回覧板でした。

地域に子育てサロンがあることを知り、これ
なら私でもできると思いボランティアに登録し
ました。現在、サロンのボランティアは4人な
のでもう少し増えてくれれば助かります。子
どもとお母さんの笑顔に癒されますよ。人とのつ
ながりも増えるのでぜひボランティア登録をお
願います。



参加した人からの「ありがとう」がやる気に
活動が続くように若い人もボランティアに参加してほしい



黒鳥校区
浅井 宮子さん

仕事を退職したことをきっかけに、何か地域
の役に立てることはないかと考え、校区社協ボ
ランティアを始めました。

参加した人の「ありがとう」が自分のやる気
につながっています。この活動が長く続いてほ
しいので、若い人もボランティアに参加して
もらいたいです。



次ページであなたの心を動かす出会い(活動)を探してみませんか?

校区社協ボランティアの活動

子育て中の親や子ども、障がいのある人、自身に見守りが必要だと感じる人や地域との関わりが薄くなっている人、高齢者を対象にボランティア活動を行っています。活動をとおして、ボランティア自身も地域の皆さんと交流を楽しんだり、それぞれの特技を活かしながら、いきいきと活躍しています。

小地域ネットワーク活動

(いきいきサロン・子育てサロン・見守り活動)

ご近所同士の見守りや交流の場として、地域によって子育てサロン、いきいきサロン、喫茶、カラオケ、健康体操などを行っています。



電話訪問活動

月1回、「お元気ですか？」と連絡をし、つながりを絶やさないよう、見守り活動をしています。

電話してくれてありがとうございます。元気にしていますよ～

もしもし。こんにちは。お元気ですか？



年末の見守り訪問活動

年末におせち料理をお届けし、つながりを絶やさず、良い年越しができるように見守り活動をしています。



お誕生日おめでとうございます。いつまでもお元気でいてくださいね！

誕生日プレゼント訪問活動

誕生日にお祝いの訪問をし、困りごとがあれば一緒に考えるなどの見守り活動をしています。

お誕生日おめでとうございます。いつまでもお元気でいてくださいね！



特集 ボランティアだヨ! 全員集合

季節に応じたルートを
散策しています。



地域の人々と一緒に
歩けるから楽しい!

光明台南校区 ウォーキング活動



この日は脳トレを。手先を動
かすレクリエーション。



私たちと一緒に、地域の皆
さんと交流しましょう!

緑ヶ丘校区 いきいきサロン活動



校区社協ボランティアとして 活動してみませんか

ここまで校区社協ボランティアの活動を
紹介してきましたが、それぞれの活動
に共通しているのは「地域のつながりづ
くり」です。

現在、地域とのつながりが少なくなり、
孤独死や社会的孤立といった新しい問題
も発生しています。家庭や学校、職場だ
けでなく、自分が住んでいる地域の中
つながりがあることで、お互いがほつ
とできる、安心できる地域になっていく
と思いませんか。

地域の福祉活動を支える大事な存在で
ある校区社協ボランティアですが、ボラ
ンティアの高齢化や担い手の不足により
活動を継続していけるかが課題になっ
ています。

ボランティア活動をしたいけれど、ど
う参加すればいいのかわからない、子育
てが一段落した人、地域福祉の活動に興
味のある人など、この機会に自分たちの
地域をより良くするために、校区社協ボ
ランティアとして活動してみませんか。

活動したい人は、社会福祉協議会（☎
43・7513）までお問い合わせくださ
い。ご自身ができること、できる範囲で
大丈夫です。一緒に始めてみませんか。

問：福祉総務課 ☎99・8126